

●大津市DX戦略（案）に対するパブリックコメントでの意見内容と市の考え方

1 意見募集の結果

- (1) 予告期間：令和5年12月7日（木）から令和6年1月9日（火）まで
- (2) 意見募集期間：令和6年1月10日（水）～令和6年1月30日（火）
- (3) 意見の提出者：4人
- (4) 意見総数：18件

2 意見の内容と大津市の考え方

No.	ご意見のある箇所		意見内容（概要）	市の考え方
	ページ	該当箇所		
1	全般	全般	2023年7月19日開催のDX推進の懇話会で委員の方から「大津市はデジタルに関連して大きな政府のような方向性なのか」との意見があった。本戦略の全般から大胆な戦略はなしで数多くの計画群で小粒のDXを推進するようになった。実際のところはどうかと気になる。26の取組の列挙は理解できるが基本姿勢、基本方針、8つのテーマ、重点対象、重点分野、及び市民サービス軸・DX推進軸などの言葉が躍っている。一般市民や事業者のみならず、市役所の各担当課にもよくわからないのではないかと。大津市としてDX推進関連でも喫緊の課題は下記の通りである。 ・新庁舎・支所をどうするか。 ・それに伴って防災と大震災時の対応が大丈夫か。 DX推進では新庁舎と防災の方向性と予算からもっと議論して戦略に盛り込むべきではないか。	本戦略は、DX推進のための市の方針を示すとともに、現場の職員がDXを着実に進めるための指針としており、わかりやすくするために、一部の取組を例示しておりますが、個別の具体的な取組をすべて記載したものではありません。つきましては、原案のとおりとさせていただきます。また、庁舎整備や防災分野において、DXがどのように貢献できるのかについては、本戦略の取組を進めるなかで、所管所属と協議のうえ、検討してまいります。
2	全般 17～21 22	全般 4. DXの取組 5.1 DX推進軸の重点取組	本戦略は2024年から2028年までの5年間の戦略である。2030年を目標とするSDGsではどの目標に相当するのかについて記述してはどうか。いつまでに何を達成するのかを戦略であっても、もう少し具体的に記述してはどうか。そのうえで、巻末の用語集にも解説をしてはどうか。 「大津市総合計画第2期実行計画」では148ページ～149ページにSDGsの目標の関連一覧がある。現時点で改定中の計画群(都市計画部、福祉部、健康保険部等)では前向きにSDGsの目標について記載され、2030年に向けて大津市の意気込みがあるのではないかと。例えば修正案として、1～26の取組の各々、重点取組(6つの重点取組)、及び市民サービス軸の重点分野については、市民にとって何が期待できるのかを明示して欲しい。特に、22～23ページについては、記載の趣旨は想像できるが、市民、関係事業者、及び大津市の各担当課の方々が十分に理解し積極的な協力を得られるかどうか危惧する。現状の5.1と5.2のままだと進捗管理・評価が難しい。 最大の心記事はDX推進由来のザクとした予算を各担当課に振り分け、とにかくDX推進事業とすることは避けていただきたい。	DXは特定の行政分野ではなく、すべての行政分野を横断して貢献するものとなります。SDGsでの目標を設定いたしますと、個々のDXの取組がそれぞれ特定のSDGsの目標に紐づくこととなり、あくまでDX推進のための市の方針を示すものという本戦略の趣旨から逸れると考えております。つきましては、SDGsに係る記載については見送らせていただきます。また、各取組や重点対象を進めていくうえで、所管所属とのヒアリング等を実施して理解を得られるように努めていきます。具体的な評価手法については現在検討中ではありますが、確定した評価手法をもとに各取組の進捗を管理し、DX戦略本部員会議で報告してまいります。評価状況等については、公表をさせていただきます。市民及び関係事業者にもご覧いただけるようにします。
3	全般 22 23	全般 5.1 DX推進軸の重点取組 5.2 市民サービス軸の重点分野	本戦略は5年間の戦略で大津市のDX推進についての大きな方向を示すものとして期待されるが大津市固有の課題と展望が弱い。 大津市総合計画第2期実行計画の施策が列挙されているが個別計画に対して本戦略の課題と展望を記述すべきではないかと。なお、大津市総合計画第3期実行計画が来年度から始まるが、そのとき本戦略の重点取組はどのように対応するのか。	本戦略は、所管所属が個別計画などに基つき事業を推進するにあたってのデジタルの活用の仕方を示しているものであり、各行政分野の課題に対するデジタル活用方法は所管所属により検討を進めることとしておりますので、原案のとおりとさせていただきます。また、今後の大津市総合計画第3期実行計画の策定の際は、本戦略と関連する部分について内容を調整してまいります。
4	5	図1-1 図1-2	(意見) 2024年01月30日現在「デジ田メニューブック」に、滋賀県では日野町の事例しかないが大津市ではすでに何かを始めているのか。 デジタル田園都市国家構想において大津市は何を優先して本戦略を推進するのかを記述してはどうか。例えば国が示す「モデル地域ビジョン」としてスマートシティ・スーパーシティ、SDGs未来都市、「デジ活」中山間地域、産学官協創都市、及び脱炭素先行地域等があるが大津市は何を目指しているのか。或いはこれらのどれでもないのか。本計画に記載しなくても現時点での検討結果や議論などを資料編で示してはどうか。 なお、脱炭素先行地域の選定状況(第1回～第4回)に、大津市は選定されていないようだが、その他の検討状況も資料編で記載してはどうか。筆者は、大津市民憲章と地勢を理由に「観光DX」や「地域交通のり・デザイン」の推進に期待している。 (参考) ・内閣官房HPより デジ田メニューブック <a href="https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/menubook/index.html">https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/menubook/index.html</a> ・環境省HPより 脱炭素先行地域選定結果(第4回)について <a href="https://www.env.go.jp/press/press_02388.html">https://www.env.go.jp/press/press_02388.html</a>	本戦略は、デジタル田園都市国家構想における特定の方向性を優先するものではなく、構想を踏まえたDX推進のための市の方針を示すものです。つきましては、原案のとおりとさせていただきますが、デジ田メニューブックや総務省で取りまとめた参考事例集などでみられるように、他都市における事例が増えていることは認識しておりますので、これらの取組事例の情報を随時収集し、本市の課題や特性に適すると考えられるものについては、適用を検討してまいります。
5	7 9	図1-3 図2-1	本戦略は前回の戦略や国の戦略などに紐つき今後5年間の戦略であり、この図に西暦を付記してわかり易くしてはどうか。図3-1には西暦が付記されている。	図1-3および図2-1に西暦を付記させていただきます。
6	11	(8) 全庁ネットワーク無線化の推進とセキュリティ強化	Microsoft365を利用することにより、手軽にクラウド(ワンドライブ)として利用することは出来るが、Microsoftが保証するのは、データのバックアップであり、クラッキング等によりデータ流出した際の補償は現状見当たらないです。ほかのクラウドも含めて、現在の個人情報保護の方向性を示した方が良いでしょう。	該当部分については、現行の「大津市デジタルイノベーション戦略」での取組状況を報告する目的で記載した箇所であり、今後の方向性を示すものではありません。つきましては、原案のとおりとさせていただきますが、本戦略として取り組む5年間で「情報セキュリティの維持・強化」に向けた様々な取組の中で、活用を検討してまいります。
7	11	(8) 全庁ネットワーク無線化の推進とセキュリティ強化	ネットワーク無線化について、有線と無線とのセキュリティの違いとかを、本文があるいは26ページ以降の用語解説で補足した方が良いでしょう。	ネットワーク無線化について、新たに用語解説を追加させていただきます。
8	11	(8) 全庁ネットワーク無線化の推進とセキュリティ強化	顔認証について方向性としては悪くないと思うが、現状、出入国管理、マイナ保険証での顔認証エラーが頻発しており、当面、携帯電話、スマホのショートメール認証とかの併用がベターかと思えます。	ご提案の取組について、本戦略として取り組む5年間で「テクノロジーの最適な活用・インフラの整備」に向けた様々な取組の中で、所管所属と協議のうえ、検討してまいります。
9	18	4.1.1 手続きのオンライン化の拡充	市役所におけるFAXの使用廃止を明記して下さい。FAXを使い続ける限りオンライン化なんて絶対に進みません。このパブコメにしてもそうです。FAXで意見書を提出可となっております。やる気が感じられませんね。	FAXにつきましては、パソコンなどのデジタル機器をお持ちでない方や聴覚に障害のある方などの連絡手段としての役割を担っておりますので、全面的に廃止する方針はありません。また、本戦略は、今後のDX推進のための市の方針を示すものであり、わかりやすくするために、一部の取組を例示しておりますが、個別の具体的な取組をすべて記載したものではありません。つきましては、原案のとおりとさせていただきますが、本戦略として取り組む5年間で「手続きのオンライン化の拡充」を進めてまいります。
10	18	4.1.7 市民の行政参画手法の多様化	公文書の開示の実施をメール等でのオンライン対応するようにして下さい。これも行政参画です。	ご提案の取組について、本戦略として取り組む5年間で「市役所のデジタル化」に向けた様々な取組の中で、所管所属と協議のうえ、検討してまいります。
11	20	4.4 テクノロジーの最適な活用・インフラの整備	「2025(令和7)年度末までに完了が義務付けられている、指定20業務における自治体の情報システムの標準化・共通化を着実に進めていきます。」とある。指定20業務の概要やデータ移行など大津市固有の進め方についても資料編などで提示してはどうか。多くの市民や大津市各担当課での理解・周知がすすむことにより、本戦略の評価・軌道修正にもつながるのではないかと。大きな予算が動くだけに市民は注目している。支所の運営や本庁舎の改築・移転などにも関係するので、可能な限り公開して欲しい。	自治体の情報システムの標準化・共通化については、現時点での動きが流動的で未確定な要素もある状況です。本市として、着実に取り組む方向性はあるものの、現時点で計画として確定できない部分があり、具体的な進め方についてお示しできかねるため、原案のとおりとさせていただきます。
12	23	5.2 市民サービス軸の重点分野	(意見) 大津市立図書館の窓口業務(利用者対応)に係る下記の取組の追加を検討してほしい。 ①予約本受取ボックスとブックポストの拡充 ②図書館自動返却機/ロボット仕分けシステムの採用 (参考) ①予約本受取ボックスとブックポストの拡充 ・野洲駅の自由通路に「予約本受取ボックス」「ブックポスト」を設置しました <a href="https://www.lics-saas-nexs-service.jp/yasu/news/20230328.html">https://www.lics-saas-nexs-service.jp/yasu/news/20230328.html</a> ・茅ヶ崎市(神奈川県)、図書館で予約した資料を24時間受け取ることができるロッカー「うけとりちゃんDX」をJR茅ヶ崎駅自由通路に設置 <a href="https://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/toshow/html/uketorichan.html">https://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/toshow/html/uketorichan.html</a> ・予約図書受取ロッカーの利用を開始：JR西宮駅と上甲子園センターに <a href="https://tosho.nishi.or.jp/guide/yoyakulocker.html">https://tosho.nishi.or.jp/guide/yoyakulocker.html</a> ②図書館自動返却機/ロボット仕分けシステムの採用 ・大和市文化創造拠点シリアスの自動返却機 <a href="https://www.townnews.co.jp/0401/2018/02/16/419887.html">https://www.townnews.co.jp/0401/2018/02/16/419887.html</a> ・自動貸出機・返却機が導入されました <a href="https://www.city.kasai.hyogo.jp/site/library/12713.html">https://www.city.kasai.hyogo.jp/site/library/12713.html</a> ・自動で本の貸し出し、返却、座席オンライン予約も。三島市立図書館が導入 <a href="https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1170129.html">https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1170129.html</a>	本戦略は、今後のDX推進のための市の方針を示すものであり、わかりやすくするために、一部の取組を例示しておりますが、個別の具体的な取組をすべて記載したものではありません。つきましては、原案のとおりとさせていただきますが、本戦略として取り組む5年間で「市役所のデジタル化」に向けた様々な取組の中で、所管所属と協議のうえ、検討してまいります。

●大津市DX戦略（案）に対するパブリックコメントでの意見内容と市の考え方

1 意見募集の結果

- (1) 予告期間：令和5年12月7日（木）から令和6年1月9日（火）まで
- (2) 意見募集期間：令和6年1月10日（水）～令和6年1月30日（火）
- (3) 意見の提出者：4人
- (4) 意見総数：18件

2 意見の内容と大津市の考え方

No.	ご意見のある箇所		意見内容（概要）	市の考え方
	ページ	該当箇所		
13	24	(4) 防災	3項目の記載があるが、大津市の抱える大きな防災上の課題についてDX推進での課題と展望が記載されていない。 南北に長い地勢、公共交通・道路網、現在進行中の市役所本庁舎の改築・移転、及び38学区の支所網に対してDX推進での取組を記載してはどうか。現在24ページに記載している内容はすでに各担当課での施策・計画で実行しているものではないか。DX推進ならではの視点で記述して欲しい。	本戦略は、今後のDX推進のための市の方針を示すものであり、わかりやすくするために、一部の取組を例示しておりますが、個別の具体的な取組をすべて記載したものではありません。つきましては、原案のとおりとさせていただきますが、防災分野の所管所属と協議のうえ、実行されている施策や本市の抱える防災上の課題を把握しながら、DXの観点で貢献できる取組を検討してまいります。
	24	(5) 移動	3項目の記載があるがDX推進ならではの視点として、コンパクト・ネットワークのまちづくり(立地適正化計画、地域公共交通計画)の推進の為に調査・分析のためにDXを活用するなどを記載してはどうか。現状は、個別計画での政策・施策推進が高原状態のよう進捗に問題があるのではないか。DX推進により可能となることはいないか。	本戦略は、今後のDX推進のための市の方針を示すものであり、わかりやすくするために、一部の取組を例示しておりますが、個別の具体的な取組をすべて記載したものではありません。つきましては、原案のとおりとさせていただきますが、移動分野の所管所属と協議のうえ、関連施策の推進のためにDXの観点で貢献できる取組を検討してまいります。
15	24	(5) 移動	(意見) 介護保険事業では膨大なデータ処理と紙ベースでの処理・郵送業務で市民、介護保険事業者、及び大津市職員が苦勞しているのではないかと一部大手の介護保険事業者はデジタル化を推進しているが、大多数の中小の介護保険事業者と介護保険の利用者の為の施策は大津市の個別計画とその関連事業では難しい。ぜひとも、本戦略で注力して欲しい。そのような視点が欲しい。 DX推進部隊の職員が、各担当課での日常処理で不必要や不適切なものが無いかどうか等とともにより有効な処理ができるような取組をしてほしい。 (例) ①介護保険課が年一回介護保険利用者に郵送する「介護給付費通知書」などはその例である。 ②ケアマネージャーが利用者宅を訪問した際の記録は直営・委託により管理が異なり適切に記録保存しているか不明である。 ③介護保険事業者はすべての利用者宅に納品請求書を郵送・手渡ししている。(煩雑・紙使用増大・コスト増)	ご提案の取組について、所管所属へ情報提供させていただきます。また、本戦略として取り組む5年間で「市役所のデジタル化」の取組として、特定の分野によらず、業務の自動化や省力化を図り、業務効率化や品質向上を進めてまいります。
	25	6.1 推進手法	進捗と効果の適切な評価と対応に「事業ごとに指標値を設定し…」とあるがこの事業とは各担当課の計画や施策の指標のことか、或いは本戦略での「予算」と「DX推進」を設定する指標のことか不明である。予算と評価について、明確に記述してはどうか。担当課毎の個別計画にDXの色を付けて評価するのかなど、具体的に示した方がよい。	各担当課の個別計画や施策の指標ではなく、本戦略を進める「26のDXの取組」に紐づく事業ごとに指標を設定いたします。具体的な評価手法については現在検討中であるため、原案のとおりとさせていただきますが、実施後の評価状況等については、公表させていただきます。
17	25	6.2 体制	図6-1ではわかりにくい。具体的に部署名、役職名、及び市民・学識経験者等がどのように参加しているのか明示的に記載して欲しい。 本戦略策定時点での関係者の氏名も公開してはどうか。大津市の個別計画群では、計画書巻末に審議会委員、協議会委員などは所属・氏名等を公示している。 なお、本件は戦略であるので大津市議会のどの機能と関係（承認・報告など）しているのかも明示してはどうか。	該当箇所については、本戦略を推進するための会議体の役割を示すものであり、策定時の体制について示すものではありませんので、原案のとおりとさせていただきます。また、本戦略の推進にあたっては、必要に応じて大津市議会への報告等を行ってまいります。
	26 27	7.用語解説	取り上げると、書ききれないくらい多いのですが、2ページで解説がありますが、例えばIT、ICTも解説して違いも補足するとお良いと思います。クラウドは本文で説明があるのですが、もう少し補足があると良いと思います。	IT、ICT、クラウドサービスについて、新たに用語解説を追加させていただきます。
18				